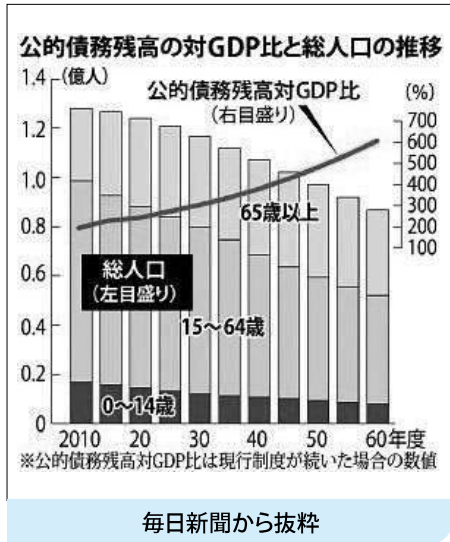


農業予算の転用は？

町長 国の施策である



加藤 紀之 議員



【加藤】財政制度等審議会が、国と地方の債務残高の合計が、2060年には8000兆円になるとの試算を示した。審議会は、このままでは将来世代に重い負担を背負わせることになり、国や自治体は歳出の大胆な見直しや、増収策に取り組む必要があるとしている。

このことから、交付税も相当な減少が予想されるが、町長はどう対応するか。

【町長】引き続き行財政改革を進めるが、基

金の活用も考える必要に迫られる。

【加藤】専門家は、成長戦略と歳出カット、さらに増税が不可欠だとしている。

本町の成長産業をどう考えているか。

【町長】農林水産業、観光業が柱である。

【加藤】今の上までは、成長産業になるとは思えない農業の予算を、若者定住が期待できる企業誘致にかけるべきではないか。

【町長】農業政策は国の施策である。

町道のへこみは誰が直すか？

町長 設置者の責任である



野口 昌作 議員

【野口】畑地かんがい用水のボックスが低く設置しており、トラックが大きくバウンドし、非常に不快である。町と畑かんの占有者との道路修理の関係は、また、殿河内南側のへこみの修理は。

【町長】道路占用許可条件で、2年間の瑕疵責任と、さらに復旧方法に瑕疵がある場合は、5年間の保証措置を付している。

殿河内は早急に対応する。

【野口】占用工事完成時にどのように検査しているか。

【町長】車両の通行に支障がないよう確認している。

【野口】町民が快適な生活をするため、道路行政についてどのような考えをもっているか。

【町長】誰もが安全で安心して利用できる道造りだと考えている。



へこんだ町道



大森 正治 議員

集団的自衛権の 行使容認どう考える？

町長

外交解決を望む

【大森】安倍政権は、歴代内閣が否定してきた集団的自衛権行使容認を閣議決定しようとして躍起になっている。

自衛隊の海外での武力行使容認は、戦争ができる国にすることであり、憲法9条を壊し、国の形を根底からくつがえすものである。

これをどう考えるか。

【町長】世界平和を希求してきた日本が先頭に立って、武力による紛争解決ではなく、外交努力による解決に尽力されることを政府に望みたい。

【大森】今後、自衛隊に関する業務はどうするのか。

【町長】自衛隊法・地方自治法など、法にしたがって行う。



教育委員会事務局

教育委員会制度の 改変どう考える？

教育委員長

改革の必要を感じない

【大森】関係法の改定によって、首長の権限が強まり、国や首長の

教育内容への介入、教育の支配など、教育委員会の中立性・独立性が損なわれる恐れがある。

安倍政権によるこの改変をどう考えるか。

【教育委員長】本町では、適切な教育行政を

進めており、制度改革の必要を感じない。

法改正後も、子どもの発達を保障し、町長・教育長・教育委員会が適切に連携し、政治的中立性、継続性・安定性の確保に努める。

【町長】教育委員会の意思を尊重し、一定の独立性と信頼性を保ちながら教育行政を進める。

介護はどうなる？

町長

改正後も対応できる

【大森】「介護・医療総合確保法案」は、要支援者の訪問・通所介護を介護保険から除外するなど、介護保険の大幅悪化である。

訪問・通所介護の町への事業移行にともない、どう対応するのか。

【町長】本町では、平成27年度での移行はできない。平成29年度末までに、新しい総合事業によるサービスを検討する。

【大森】特養への入所についてはどうか。

【町長】現在、特養入所者は108人で、全員が入所できる。改正後もほとんど影響はない。



デイサービスで活動後のひととき

危機管理は大丈夫か？

町長

防災計画で対応できる

米本 隆記 議員



防災訓練の様子(御来屋地区)

【米本】いま、日本国中何が起こるか分からず、南海沖地震も近い将来起こるとも予想されている。

近年増加している豪雨災害など住民の生命・財産を脅かすことも数多く発生しているが、本町の対応はどうなっているか。

【町長】 大山町防災計画を策定し、対応を定めている。災害時にも最低限の業務を行う必要があるため、県と連

携し、業務継続計画を策定している。

災害が起こった場合に備え、県や市町村、民間事業者などと応援協定を結び、食料品などの確保や燃料の供給ができるようにしている。

【米本】 町長が不在時の対応はどうなるか。

【町長】 災害本部の設置などの権限は、1番目が副町長、2番目が総務課長、3番目がその場の最高責任者になっている。

法令順守は大丈夫か？

町長

服務規程を定めている

【米本】 組織運営の中で、特に法にもとづき

業務を遂行する自治体にとって、法令順守は大切な要素の一つだと思う。

町長、教育委員長はどのようにとらえ、職員を指導しているか。

【町長】 地方公務員法によって法令、条例、規則などに従い、かつ上司の命令に従うことが定められている。

町職員服務規程では、服務の原則、綱紀の保持などを定め、町民全体の奉仕者であることの自覚など、職員として守ることを定めている。

法令順守は普段から

の心構えが大切だと考

【教育委員長】 町長部局と同じく、職員の意識を高めるよう指導し

ている。関係する各所属長で「六長合同会議」

を開催し、情報の共有や事例をもとに職員の指導をしている。



職員は町民全体の奉仕者



岡田 聡 議員

地球温暖化対策の さらなる実行は？

町長

可能なものから 進めていく



林之峰(下市)のソーラー予定地

【岡田】温暖化による異常気象が各地で発生し、大きな被害を及ぼしている。対策として誰もができることから実行していくことが大切で、再生可能エネルギーの活用促進などが急がれる。

太陽光発電設備などの普及促進のため、公共建物や遊休地、荒廃農地などを有効利用しては。

【町長】強度や防水の問題があり、学校以外では補助制度もない。困難と判断している。耕

作放棄地は再生事業に取り組む。

【岡田】民間力の活用は。

【町長】町有地の押平地内3.9haと下市地内1haを、太陽光発電設置の民間事業者に賃貸する。

【岡田】町民へさらなる

節電や省エネへの協力をお願いは。

【町長】機会をとらえ、意識の啓発に努める。

【岡田】校舎屋上への太陽光発電設置は。

【教育委員長】検討していない。

健康寿命を延ばすには？

町長

有効な事業を調査する

【岡田】町民が健康づくりに関心を持ち、メリットを感じられる施策が必要である。本人

が楽しみながら取り組むことで、健康寿命を

延ばし、厳しい国保会計の改善にもつなげる。

健康マイレージ制度を実施してはどうか。

【町長】健康づくりによって分かっているも、行動に移せない人も多いため、動機づけになるように、助成制度を利用した健康マイレージ事業に取り組む。

【岡田】データヘルスの導入は。

【町長】国保加入者の検診・医療・介護データを分析し、より効果

的な生活習慣病の予防、重症化防止などの保健事業に取り組む。

【町長】どんな生活習慣の奨励策が健康づくりへの行動に結びつくのか、調査・研究しながら、効果のある事業を行う。

【町長】どんな生活習慣の奨励策が健康づくりへの行動に結びつくのか、調査・研究しながら、効果のある事業を行う。

※健康マイレージ制度
健診などを奨励するため受診した場合、特典が付与される制度

※データヘルス
診療と健診の電子データを活用した新しい健康管理システム



むきぱんだ

介護施設への影響は？

町長 少なからず予想される



丸岡 伸実 議員

【丸岡】「医療・介護総合確保法」には大きな問題があり、「要支援1から2」の人向けへの一部サービスが段階的に市町村に移行され、特別養護老人ホームへの入所は原則「要介護3」以上に限定される。これらによって介護施設の経営にも支障がでるのではないかと。【町長】総合事業への移行で、経営に影響がでることは予想されるが、どの程度かはわからない。移行期限までに、総合事業と予防給付によるサービスを、適切に組み合わせる利用できる体制を検討する。【丸岡】法案が成立したとき、町にサービスの受け皿はあるか。【町長】民間企業やNPO、ボランティアといった多様な受け皿の参加が可能になる。

【丸岡】平成27年度から始まる「子ども・子育て支援新制度」では20人が一つの基準となる。今後の大山保育所は、小規模保育所として存続させることも一つの選択肢になるのでは。

教育委員長

現状のまま

大山保育所の
今後は？



元気な子どもたち(大山保育所)

【教育委員長】大山保育所には、今年度46人が在籍していて、ここ数年大きな増減はない。大山保育所を小規模保育所にすることは考えていない。

登山道の整備は？

町長 協議する必要がある



慎重に下山する登山者

【丸岡】大山のユートピアのお花畑は、東京でもポスターが掲示されるほど人気があるが、宝珠尾根の一部や、下山路として利用される上宝珠越えから砂すべりへの合流地点は危険である。遭難防止の観点から、整備をする必要があるのではないかと。【町長】このルートは管理者のない歩き道で、環境省から整備許可を受ける道路管理を、誰が担うかを協議する必要がある。整備の必要性は誰もが感じているが、結論が出ていない。



大杖 正彦 議員

地域おこし協力隊員への期待は？

町長

地域活動の支援、発展に



地域おこし協力隊の2人

【大杖】深刻化する人口減少・少子高齢化という大問題に対し、本町ではさまざまな施策を講じている。その中で若い人の田舎暮らしを促すためには、「里山」がキーワードと考える。

今年度から始まった地域おこし協力隊員に、町はどのような期待をしているか。

【町長】「里山」は大切な資本であり、日本社会が抱える地方の過疎化・少子高齢化を克服する可能性を秘めている。本町の豊かな自然や資源が活用できると考える。

地域おこし協力隊員には、NPO設立や起業をし、地域課題を解決する受け皿となってもらおう。地域コミュニティや集落・地域活動の支援、発展につなげていきたい。

児童・生徒の体力は？

教育委員長

平均を上回っている

【大杖】この10年、体力テストの結果は全国的に下がっている。昔は徒歩通学があたり前だったが、交通手段の発達により運動不足が深刻である。

本町では小・中学校生の体力は、全国や鳥取県と比べどうなっているか。

【教育委員長】体力テストでは、小5男子はやや低く、小5女子と中2男女は平均より高くなっている。

【大杖】体力向上対策はどう考えているか。

【教育委員長】県内では幼少期の運動不足による、バランス感覚や柔軟性・器用さに欠け

る子どもが増えている。保育所でリズム運動や運動遊びなど積極的に取り入れている。

【大杖】個人の特性や潜在能力の発掘・育成

を促すために、スポーツ少年団の普及についてどう考えるか。

【教育委員長】一生懸命やる意欲のある人には、応援していく。



中山小マラソン大会

災害時の連絡網は？

町長

防災無線をメインに対応する



大原 広昌 議員



有効活用したい防災ガイド&マップ

【大原】緊急災害時の本部立ち上げは？

【町長】震度4以上の地震で第一配備、5弱で第二配備、5以上で第三配備としている。

【大原】本部の人員配置は。

【町長】事前に各課ごとに計画している。

【大原】町民に対する連絡網は。

【町長】防災無線を中心に情報伝達を行う。

【大原】全町内停電時の対応は。

【町長】本庁と中山・大山支所、保健福祉セ

ンターなわ・だいせんの5カ所に非常用電源がある。防災無線もバッテリーを備えていて、情報発信に支障はない。

【大原】各集落の責任者との連絡にショートメールを活用しては。

【町長】考えていない。

【大原】庁舎の火災時のデータ対応は。

【町長】民間データセンターと保存契約をしている。

【大原】防災ガイドマップの活用は。

【町長】各集落の要望に応じて説明会を行う。

企業誘致の現状は？

町長

宣伝を継続していく

【大原】工業団地の空き状況は。

【町長】造成地が3000㎡、造成可能地は2万㎡ある。

【大原】山陰道開通後の傾向と対策は。

【町長】地震などの災害対策のため、工場進出の問い合わせが増えている。交通インフラの向上や災害の少なさをアピールしていく。

【大原】自然や子育て環境のよさをPRしては。

【町長】県と連携を密にし、他町との違いをPRする。

【大原】太平洋側の企業誘致のために東京・大阪に職員を派遣して

は。

【町長】以前、県の大阪本部に派遣していた時の人脈や経験を誘致活動に生かしている。現在、派遣は考えていない。

【大原】大工場ばかりではなく、空き家などに小規模企業を呼べるかが。

【町長】徳島県の神山町をモデルに、**サテライトオフィス**の誘致も進めたい。また学校跡地なども宣伝する。

※**サテライトオフィス** 企業の本拠地から離れたところに設置された事務所



企業進出を待つ大山IC工業団地



遠藤 幸子 議員

見守りは大丈夫？

教育
委員長

見守り隊が犯罪の抑止力



子ども見守り隊

【遠藤】登下校時の子どもの事故・事件や高齢者の行方不明の報道が多い。本町の見守り体制はどうなっているか。

【町長】包括支援センターを中心に、社会福祉協議会など、関係機関と連携して見守り体制を推進している。自治会とも連携して、地域で安全・安心に暮らせる協力体制の構築に努力する。

【教育委員長】子ども見守り隊による登下校の安全対策を行っている。見守り隊の活動が犯罪の抑止力になっていると感じる。

スクールガードリーダーを設け、保育園や全小中学校を対象に、防犯・安全指導を行っている。自分の身は自分で守る、を原則として、今後も地域の人や見守り隊のお世話になりながら、対処していく。

第3回
臨時会

専決で紛糾

第3回臨時会を4月23日に開きました。

この臨時会では、税条例の一部改正など専決11議案と教育委員会委員の選任1件、固定資産評価審査委員会委員の選任3件が提案され、原案どおり承認・同意しましたが、**専決**のあり方で紛糾しました。



※**専決**とは
議会の議決が必要な事柄を、町長が自ら処理すること。

一般会計補正予算の討論

【反対…野口議員】

3月補正で減額したのに、今度は増額する。予算に対する取り組み方がおかしい。

【賛成…西山議員】

執行部は議会のいうことを聞いて提案している。100%満点ではないが、承認すべきだ。

【反対…大森議員】

専決処分するための要件に欠けるので、この補正予算は認められない。

【賛成…加藤議員】

専決処分より、この一般会計補正予算が必要なのかを中心に考えるべきだ。

【反対…岡岡議員】

風疹ワクチン接種緊急事業に対し、真剣に取り組んでいただとは思えないので反対だ。

軽自動車税を値上げ
国の税制改正に伴い、来年4月以降の新たに購入する軽自動車の自動車税が値上げされる。
自家用の軽トラックは4000円から5000円に。軽の乗用車は7200円から10800円になる。

平成26年第3・4回大山町議会臨時会 審議結果

○賛否の分かれた議案

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案	氏名	加藤紀之	大原広巳	大杖正彦	圓岡伸夫	遠藤幸子	米本隆記	大森正治	杉谷洋一	野口昌作	近藤大介	西尾寿博	吉原美智恵	岩井美保子	岡田 聡	西山富三郎	結果	
4月臨時会（4月23日議決）																		
税条例の一部を改正する条例		○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成 12人承認
国民健康保険税条例の一部を改正する条例		○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成 13人承認
平成25年度一般会計補正予算(第10号)		○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成 10人承認
平成25年度情報通信事業特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	賛成 12人承認
平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)		○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成 11人承認
平成25年度国民健康保険診療所特別会計補正予算(第4号)		○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成 12人承認
平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成 12人承認
平成25年度介護保険特別会計補正予算(第4号)		○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成 12人承認
平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)		○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成 11人承認
平成25年度共下水道事業特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成 12人承認
平成25年度大山町索道事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 13人承認
5月臨時会（5月29日議決）																		
国民健康保険税条例の一部を改正する条例		○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	賛成 12人可決
平成26年度一般会計補正予算(第1号)		×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	賛成 12人可決

○全会一致で同意・可決した議案

【第3回臨時会】教育委員会委員の任命(伊澤百子)、固定資産評価審査委員会委員の選任(岩倉恭司、浅田明枝、近岡一幸)
 【第4回臨時会】平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)、平成26年介護保険特別会計補正予算(第1号)
 議案の採決は、野口俊明議長を除く15人で行います。

第4回臨時会
 国保税が
 引き上げに

国保税の一部改正

平成26年度の国保会計の単年度収支は約9000万円の赤字。前年度からの繰越金を含めても、約6000万円の財源が不足する見込みである。

来年度以降も厳しい財政運営が予想されていることから、基金の取り崩しと国保税を増額する税率・税額の改正を行い、財源を確保する。

〔原案に反対…大森議員〕
 今回で3年連続の引き上げだ。この間に1人あたり平均で約2万4千円上がった。このような大幅な引き上げは、認められない。

〔原案に賛成…杉谷議員〕
 一般財源からの繰り入れは基本的に禁止されている。税の相互扶助ということもある。国保税の値上げは仕方がない。

〔原案に反対…圓岡議員〕
 医療費低減のためにかかる経費を一般会計から予算化することで、さらに早期発見、早期治療に努めるべきだ。

第4回臨時会で国民健康保険税条例の一部改正など4つの議案を審議し、原案どおり可決しました。

上げだ。この間に1人あたり平均で約2万4千円上がった。このような大幅な引き上げは、認められない。

合併は成功だったのか?

～光と影～

だいせんち
大山町

新大山町が誕生して、10年目を迎えました。

合併の光と影、町民のみなさんもうるるな思いがあるでしょう。

議員同士でこの10年を振り返り、今後の大山町の課題について熱く討論しました。

平成15年8月合併
協議会当時の町長

これまでとこれから

【杉谷】合併はソフト面でもよくなった。メリット、デメリットはあるが、今後の10年を考える「未来づくり10年プラン」に期待している。

【大杖】人口減少、少子高齢化は大きな問題。豊かな自然を生かし、本町にしかない魅力あるまちづくりをめざすべきである。

【岡岡】合併した自治体のほうが財政的に厳しくなる。大山診療所や高麗体育館をどうするか、事業の見直し、スリム化をどうはかるかが課題。

【加藤】商店がなくなり、住みにくくなった。そして、人口減少にこの悪循環をどう断ち切るかが課題である。

【岩井】情報通信網や拠点保育所の整備は、合併したからこそできた。課題は国保会計・保険税などいろいろある。

【西尾】合併は、行財政改革が目だったが、本町は行財政の効率化ができていない。交付税の減少を考えるとスリム化しかない。

【遠藤】山陰道開通で本町が通過点になった。景色や食のよさを

情報発信することで、インターから降りてもらうことが必要である。

【大森】人間関係が疎遠になったが、交流の場を生かし町民の一体化をはかる。行政サービスの低下を住民自治の推進で補う。

【近藤】合併に不満はくすぶるが、やむをえなかった。中途半端な施策では、個性のない町になる。真剣に議論し、まちづくりを進める時期である。

【西山】声なき声を聴いてきたのか。町づくりの中心に障がい者を据えたい。そのため、障がい者から学ぶことが大切である。

【吉原】大山恵みの里づくり計画を検証すると、50%（の進み具合）である。まちづくり地区会議を生かし発展させることが必要である。

【野口昌】合併のメリットは非常に少ない。目的がスリム化だったから、施設などスリム化を徹底することが一番である。

【米本】財政面を考えると、拠点保育所や中学校は旧町ごとに必要なのか。古い施設、今の施設をどうするか、方向性をはっきりさせ

ることが課題。

【岡田】社会資本整備などプラス面、職員削減などによるマイナス面があった。財政の再構築とともに、子育て、雇用の創出など今後の課題である。

【大原】行政と町民・各種団体との距離が遠くなった。これを縮めるために人的交流の予算は必要である。団体への補助金の検討を。



山陰道が全町開通

行財政改革は

【杉谷】大山診療所は、地域に必要な医療機関だ。

【**圓岡**】大山診療所のCT機器の老朽化は課題である。

【**西尾**】本町の適正な財政規模は7、80億円くらい。補助金など切るものは切る。

【**遠藤**】住民があつてこそその財政である。だから、補助金もゼロではなく検討が必要である。

【**近藤**】補助金の一律カットではなく、何を取捨選択するのか、議員も考えるべきである。

【**野口昌**】住民あつての自治体だから、スリム化といつて補助金の一律カットはいけない。

【**岡田**】財政削減ばかりでは住みにくい町になる。効率のよい財政投資が必要だ。

【**大森**】誰のためのスリム化か。職員こそ財産。行政サービスのために、適正な職員数は必要である。

【**米本**】限られた財政の中で、住民に何が必要かはトップの判断にかかっている。

重点施策に何を

【**米本**】これまでの総合計画が実現できているのか。重点施策を絞るべきである。

【**西尾**】事業は縮小、選択と集中

だというのが、具体的に何をやるのか早く考えてほしい。

【**杉谷**】行政に頼るのではないけない。住民自らまちづくりを進める機運が出てきた。これを伸ばす。

【**吉原**】住民の手による町づくりはやりとげてほしい。

【**西山**】災害に負けない、安らぐ景観を残す。出産、医療、教育に費用をかける町を進める。

【**大杖**】外にも目を向け、自信を持った施策を発信すべき。バランスある対策で住みよい町を。

【**大森**】住民福祉の増進を基本に据える。まちづくり地区会議を



住みよいまちへ

中心に住民自治を進める。

【**若井**】基金を、町長は上下水道の整備に使いたいと言っている。バラマキではないと思う。

【**西尾**】上下水道に基金を使えば、50億円の半分はなくなる。やっていたりするのか。

【**野口昌**】上水道が中山・大山は60年たつ。更新することが最重点になる。

【**近藤**】基金を上下水道などに使っても町の魅力は増えない。若い世代や意欲のある事業者に投資すべし。

【**岡田**】今後の事業は、民間資本活力を使って町の活性化をねらうことである。

【**加藤**】少子化対策が最も大切な部分だが、議員も住民も議論をつめる必要がある。

少子化・高齢化・人口減対策は

【**吉原**】少子化対策としてのネウボラの取り組みを行政も議会も共にながらぶ姿勢が必要。

【**若井**】高齢者を元気にする、健康高齢者を増やすことに力を入れたい。



未来の君たちへ

【**西尾**】若者に力を入れるか、老後に力を入れるか。これからのことに力を入れてほしい。

【**加藤**】いろいろな議論があるが、人口が増えなければどうにもならない。

【**西山**】将来、1741市町村の半分がなくなるといふ。人口を増やす政策に腹をくくる必要がある。

【**野口昌**】働く場所がないと人口は増えない。企業誘致が二番。

【**杉谷**】人口を増やすには若者が必要。大きな住宅団地を大山インターに造れば、人が来る。

討論をふりかえって

合併に対する思いはいろいろです。よくなかったと嘆いていても活路は開かれませんが。

行財政改革、少子高齢化、人口減などの課題にどう向き合い、優先すべき重点施策は何か、今後十分な議論が必要です。

【**遠藤**】町外の人は、本町の手厚い行政をうらやましがらる。しかし、町内の者は町外に遊び場を求める。

【**圓岡**】雇用形態が正規から非正規に。若者の収入をどう確保するかが必要である。

【**大森**】若者が働きやすく、結婚・子育てしやすい環境づくりが必要。国の施策が求められる。

会場が3カ所から10カ所に

平成26年5月7日～9日、10カ所で議員と語る会を開催しました。各会場とも少ない参加人数ながら、活発な意見交換が行なわれました。



旧上中山保育所

議員と語る会

- 意見・提言**
- 恵みの里公社を株式会社にしては
 - 大山寺開創1300年で町づくりを
 - 議会だよりが読みやすくなった
 - 敬老会、一方的なやり方で納得できない
 - 若者が結婚して、子育てできる環境を
 - 10年プランに議員は目を光らせて

行政に寄せられた要望と回答

- 要望** 観光施設の案内看板の充実をしてほしい。
- 町長** 今年度は山陰道、大山の散策路、唐王神社などを中心に整備をする。
- 要望** 少子高齢化・定住促進施策の明確なビジョンを示してほしい。
- 町長** 新しい総合計画『未来づくり10年プラン(仮称)』で方向性を示す。
- 要望** 環境対策として、海岸と大山にトイレの設置を望む。
- 町長** 海岸のトイレ設置は考えていない。大山頂上小屋に水洗、ユートピア避難小屋にトイレブースがある。
- 要望** 発掘調査の出土品は、5年に1回程度の公開をすべきだ。
- 町長** 職員体制の改善をしたので、定期的な公開に積極的に取り組む。
- 要望** 大山診療所は、地域の人が進んで利用するよう対策を考えてほしい。
- 町長** 固定医の確保と勤務時間、診療時間の延長など対応できるものから取り組む。

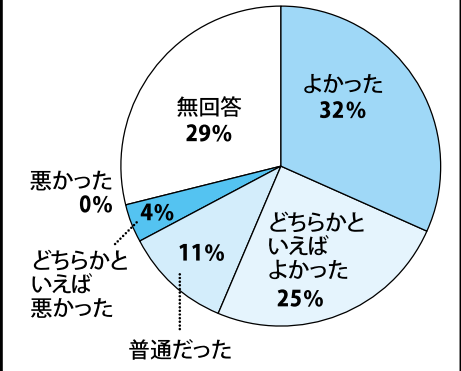
行政への要望と回答の全文は議会ホームページをご覧ください。
www.daisen.jp/gikai/

町民と議員とのやりとりの一例
「町民」移住定住対策が乏しい。町営住宅の無料化など思い切った対策を。

「議員」大山町は豊かな自然をはじめ魅力ある土地だが、米子で働き定住する人も多い。個人的意見だが、保育料の無料化などでヘッドタウナーをはかりたい。

参加者56人(前回25年11月55人)
中山地区16人(前回(17人))
名和地区22人(前回(23人))
大山地区18人(前回(15人))

【アンケート調査】語る会の評価は?



お・知・ら・せ

6月定例会後の議会活動をお知らせします。

議会の傍聴へお越し ください

本会議の傍聴はどなたでもできます。ぜひ議場で町長(執行部)と議員のやり取りをご覧いただき、一般質問など生の迫力を実感してください。

本会議はCATVでの生中継・録画中継もしています。また、議会ホームページでもご覧になれます。詳しくは議会事務局(Tel 54-5213)にお問い合わせください。

議員の勉強会

本町議会議員は、毎年1回滋賀県大津市にある「全国市町村国際文化研修所」で研修を受けます。

そのほか本議会独自に各分野の専門家を招き、勉強会も開催します。

7月31日には市町村アカデミー客員教授の大塚康男先生を招き、「専決処分」について講義を受け、多くのことを学びました。今後の議会活動に生かします。

話題の「政務活動費」とは

地方議員の調査研究活動などのため、議員報酬とは別に公費から支給されます。経費区分の中に「要請陳情等活動費」が加わり、調査研究以外にも使い道が拡大されました。一部では不透明な支出や不正受給が明らかになり、「第2の議員報酬」とも批判されています。

大山町議会には現在この制度はありません。

視察受け入れの報告

5月から3カ月間の行政視察受け入れを紹介します。

日にち	団体名	視察内容	視察人数
5月7日	米子市議会事務局	議場システムについて	5人
6月16日	岐阜県揖斐川町議会	町村合併後10年を迎えるにあたっての課題と今後の取り組みについて	19人
7月2日	岡山県美咲町議会	議会だよりの編集について	9人
7月2日	兵庫県福崎町議会	成人式について	3人
7月29日	岡山県浅口市議会	議会だよりの編集について	11人

特集

商工会の新たな挑戦

～大山グルメ食道プロジェクト～

昨年12月に山陰道が開通し、国道9号線を行きかう車が少なくなりました。町内でも多くの商店で客足が遠のき、大きな打撃を受けています。そんななかで、開通を見越して飲食店を中心に行っている、グルメ食道プロジェクトの取り組みを中心に聞きました。

商工会について

【議員】商工会の業務内容について説明してください。

【八木事務長】平成18年4月に発足した大山町商工会ですが、商工会の健全な発展をはかり、商工業の振興に寄与することを目的としています。事業の一番大きな柱は、経営改善普及事業で、各事業者の経理、税務、福利厚生にかかわる共済の推進、さらに経営革新や新商品・新サービスの開発の助けを行っています。もう一つの大きな柱が、地域総合振興事

業で、中山で行われる「わいわいフェスティバル」や「大山町納涼花火大会」の実施や、各地区の観光事業への参加、青年部・女性部による町の各種イベントへの出店などを行い、地域振興に携わっています。

また、ふれあいネットという生活支援サービスを行っており、ちよつとした修繕や法律相談などができる事業者を町民のみなさんに紹介しています。【議員】現状の課題や悩みはありますか。

【岸本会長】やはり会員数の減少が大きな課題です。景気や仕事の具合で廃業される



岸本会長(左)と田宮副会長

人もおられますが、後継者がいないというのも大きな原因となっています。

【田宮副会長】青年部も少なくなっていて、いま町全体で17人しかいません。それでも各地区にイベントがあるので、手分けをして参加している状態になっています。

大山グルメ食道

【議員】昨年からスタートした「大山グルメ食道」について教えてください。

【田宮副会長】最初は、山陰道開通によって交通量が減ることを心配し、なんとか大山町に降りてもらう方法はないかと考えました。

大山というブランドのイメージを生かし、まずは町内産の食材を使った商品を開発してもらいます。ただ作って終わりではなく、途中でモニタリングを何回か行い、辛口なアンケートも真摯に受け



洋菓子店もえぎ

止めてもらっただうえで、「大山グルメ食道」の商品として認めることにしています。

認められた店舗には、「大山グルメ食道」の登り旗を掲げてもらい、商工会は本当にいいもの、価値の高いものがあると宣伝していきます。

【議員】1年間取り組まれた感想は。

【田宮副会長】昨年は

大山グルメ食道 現在の5店舗

- Mコロくん(エムマート)
 - 大山沖サザエの混ぜご飯の素(道の駅 大山恵みの里)
 - たまご屋が作る焼きドーナツ(たまご工房 風見鶏)
 - 大山ブルーベリーブッセ(洋菓子店 もえぎ)
 - 大山のフリフリかりんとう(山陰sacca)
- <http://www.daisen.jp/gourmet-shokudo/>

5店舗が実施され、今年度は新たに10店舗以上が手を挙げられており、ますます充実していくものと思っています。

先陣を切られた5店舗は、何も分からない状態で、本当にたいへんだったと思います。しかし、手ごたえは十



エムマート

分にあり、真冬の試食会でも200食が2時間たらずでなくなったり、マスコミからも多数の取材を受けています。

【議員】今後の展望はかがですか。

【田宮副会長】今年は、新たに手を挙げられた事業者がいいものを作ってもらうことに専念します。まずは町内

で、「大山グルメ食道」のしつかりとした基盤を作りたいと思います。その後、米子や琴浦との連携も視野に入れ、中から1つでも爆発的なヒット商品が生まれることも期待します。

【岸本会長】少しでも地元の事業者の収入アップにつながり、町が発展することを望みます。

町政への

要望

【議員】最後に町政への要望などありますか。

【岸本会長】会員数の減少で、商工会費も減り、運営が厳しくなっ



たまご工房 風見鶏

ています。花火大会は4〜5千人集まるイベントになっており、商工会としても寄付集めに奮闘しているが、行政にももっと力をいれてほしいと思います。ただ、行政だけでなく、農協や漁協、観光局、ブロッコリー井戸端会議など、多くの団体に、多方面から協力をいただいております。

取材を終えて

参加店舗が少なく、何をやるか手探りで始めたグルメ食道プロジェクト。まだ完成した商品は少ないが、「大山町を代表するものを作りたい」と「大山町を何とかしなくては」と熱く語ってくれた田宮副会長の思いがひしひしと伝わってきた。

地域振興をひとつの柱とする商工会の活動の発展を願わずにはられない。





声

みんなのひろば



谷野 正
(平田)

先憂後楽とは

元町職員として、私が最近興味を持っている、中国古代文学の一節を申し述べてみたい。
北宋時代の大政治家「辛相 范仲淹」の「岳陽樓記」の有名な語録『先憂後楽』の詩を考えてみたい。詩の意味

は、「先に汗をかき苦勞しておけば、後で必ず幸せが訪れる」ということである。

これは町政に相通ずることがある。本町でも高齢者は増加の一途で、立場の弱い者を含めると、町政に参

画が困難な人々は年々増えつつあると思われる。いかに声なき声を吸い上げ、行政に反映できるかが課題のひとつである。

各議員には、町民とのパイプ役として、また町民の代弁者として、多くの人々と意見交換をしてもらいたい。おおいに汗をかいてもらえば、将来必ず幸せが訪れるだろう。

町民、議会、行政の連携のとれた、住みよい町づくりを進めようではないか。



峰地 正文
(八重)

「峰地光重展」に寄せて

4月から町内各所で、「峰地光重展」(パート1)が開催されている。町立図書館長の船原氏をはじめ、多くの人々のご尽力によるものである。平成18・19年、鳥取・倉吉・米子で祖父の展示があった。前者を町内版と

すれば、後者は県内版といえる。

死去後46年が経過するのに、祖父は忘れられるどころか、ますます輝きを増しているといった感じである。私は今回の展示を機に「生活綴方生成史」(佐々井秀緒著など)を読み、

生活綴方運動を再見しているところである。弾圧した治安維持法を天下の悪法とするなら、生活綴方運動は児童・生徒を信頼し愛する、この上ない良心的な教育運動なのである。「峰地光重展」パート2・パート3も予定されている。



斎藤 富夫
(西坪)

農村の風景を 考える

私の住む西坪は、古くは專業農家の集落であり、昭和20年代では80%が專業農家でした。時代の変貌と共に專業農家が減少し、平成に入り24%に、現在では專業農家は5%を下回る状況となりました。

こうした中、耕作放棄地も点在する状況となり、平成20年に国の制度を活用し、「農地・水環境保全管理支払制度」に参加し、「西坪地区環境保全会」を設立しました。交付金もあり、役員スタッフ・住民の団結で、農

道・用水路・ため池の補修、整備を進めています。また、国の制度の「人・農地プラン」を活用し、他集落の担い手に協力を求め、水田・畑の耕作をお願いしており、クヌシ畑、アワダチソウ畑も減少しました。用水路には、エビ・魚貝類もみられたくさんのホタルが戻ってくるのを楽しみにしています。

商工会主催の花火大会

あとがき

6月定例会の終盤、東京都議会でのヤジが世間を騒がせた。女性を蔑視し、人権を侵害する内容に、心を痛めた人も多かったであろう。

このような行為の責任はもちろん発言した議員にある。しかしながら、その議員を選んだのは誰なのか。それを忘れてはいけない。

無投票でない限り、議員は直接選挙で住民によって選ばれる。したがって、責任の一端は、投票した有権者にあるとも言えないか。我々、議員自身の質を高める努力も大切だが、有権者にも本質を見抜く力を養っていただきたい。

選挙の意義を、あらためて考える機会になればと願うばかりである。

加藤

【発行責任者】

議長 野口 俊明

【広報常任委員会】

- 委員長 大森 正治
- 副委員長 米本 隆記
- 委員 圓岡 伸夫
- 委員 大杖 正彦
- 委員 大原 広巳
- 委員 加藤 紀之